

2020年発行の米プラチナイーグル1オンス地金型コインの裏面



天高く舞うプラチナイーグルコイン

米プラチナイーグル地金型コインの需要、21年来の最高レベルに

1977年に発行されたイーグルコインは米国政府公認のプラチナコインで、政府が重量と99.95%という純度を保証する唯一の地金型コイン。

またプラチナイーグルコインは正式な法定通貨で、2014年より発行されているのは額面米100ドルの1オンスコインのみだが、実際には流通していない。

プラチナイーグル1オンスコインは、米造幣局が投資家需要に応じて発行するが、今年は、新型コロナウイルス感染症の流行で、現物プラチナを保有したいという投資家の需要を受けて鑄造量が大きく伸びている。

今年4月末までで、プラチナイーグル1オンスコインの販売は既に56,500オンスに達し、これまで史上2番目だった1999年の年間販売量、56,707オンスに迫る勢いだ。（史上最高販売高は1998年の133,002オンス。）

プラチナイーグルコインの販売プレミアムに影響を及ぼす要因はいくつかあげられる。コインの重量、スポット市場のプラチナ価格、鑄造に関わる費用、流通とマーケティングの費用、さらに需要の大きさだ。

今年3月、4月の貴金属コインの需要の増大は流通の制限と相まって、販売プレミアムの高騰

を招き、金貨とプラチナコインのプレミアムは通常の4倍、銀貨は3倍近くとなっている。



2020年発行の米プラチナイーグル1オンス地金型コインの表面

今なぜプラチナ地金が人気なのか

プラチナイーグルコインを購入しているのは、手軽に現物プラチナを投資ポートフォリオに加えたい投資家。新型コロナウイルス感染症の拡大による経済的打撃で世界的に高まるリスクを回避するために、投資家需要はプラチナ地金な

どの現物資産に向かっており、さらにコロナ危機に市場が反応してプラチナ価格が下落したことで一部の投資家にはプラチナコインが買い易くなったことも人気の一因である。プラチナコインはポートフォリオの分散化を目指す投資家や、長期で保有して価値を得たい投資家には魅力的な金融商品であると同時にまた、英国在住者ならば国内のキャピタルゲイン税の対象とならないという優遇措置も受けられる。

また米国ではプラチナ地金は資産として年金プランに含めることができる。

**Contacts:****WPIC London**

Brendan Clifford, Investor Development, bclifford@platinuminvestment.com

Trevor Raymond, Research, traymond@platinuminvestment.com

David Wilson, Research, dwilson@platinuminvestment.com

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Sophia Zeng, Japan Market Development Manager, szeng@platinuminvestment.com

DISCLAIMER: The World Platinum Investment Council is not authorized by any regulatory authority to give investment advice. Nothing within this document is intended or should be construed as investment advice or offering to sell or advising to buy any securities or financial instruments and appropriate professional advice should always be sought before making any investment. Images are for illustrative purposes only. More detailed information is available on the WPIC website:

<https://platinuminvestment.com/>